

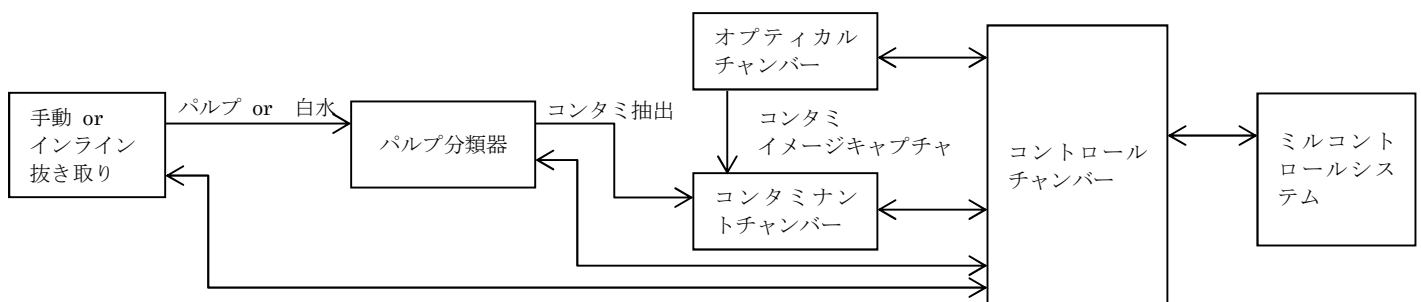
インライン古紙パルプ分析器 FPAutoSpeck™

従来に無いインライン古紙パルプ分析器

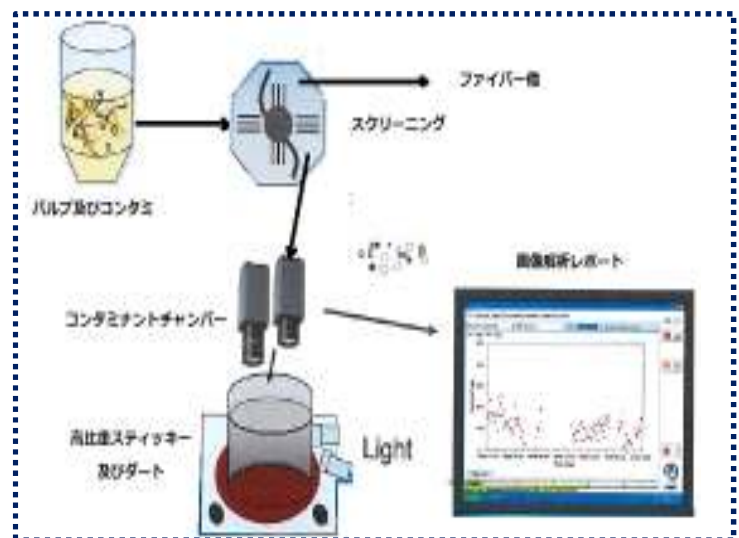
古紙パルプを利用するには、高い設備技術が求められます。回収される古紙の品質問題をはじめ、工場においては多種の古紙が混合されることから、接着剤やラテックスなどの合成系不純物（スティッキー）や、原料である材料に含まれている樹脂などの天然系不純物（ピッチ）が混入しています。回収された古紙は全て使用されるため、多様な原料に対応した設備が必要とされます。近年多くのサプライヤーが脱墨をはじめとした異物除去設備、薬品等の開発に取り組んでいます。本器は、抄紙機の各設備の最適稼働に必要なデータを提供するインライン古紙パルプ分析器です。

FPAutoSpeck™

カナダの民間研究機関 FPInnovations 社と Technidyne 社（USA）で共同開発された機器です。製品はインライン測定器ですが、マニュアルシステムも用意しております。マニュアルはパルプを手動でピックアップ。インラインシステムは配管からパルプを自動で取り込む仕様です。尚、従来の Tappi 試験機には無い低比重と高比重のスティッキーを識別できる特徴があります。



抄紙工程中のパルプを自動で抜き取り、画像解析で異物を識別するインラインパルプ分析システムです。古紙パルプに含まれるスティッキー（接着剤やラテックスなどの合成系不純物）や、原料である材料に含まれている樹脂などの天然系不純物をスクリーニング/抜き取ります。抜き取った異物は、種類毎にそれぞれの個数、サイズ等の解析が行われます。これら得られたデータは独自のプログラムで分析後、DCSに送られ、この結果を生産プロセスにフィードバックし、工程と異物の相関をとり生産プロセスを最適化します。過剰な運転エネルギーの削減、薬品量削減、紙切れ低減、歩留り向上等、大幅なコストダウンを可能にします。



株式会社 **マツボー**
製紙機械課

Tel/Fax:03-5472-1747/03-5472-1740

URL:<http://www.matsubo.co.jp/sanki/seishi/index.html>

設置個所

パルパー、フローテーター、スクリーン、ヘッドボックス等が効果的です。

パルパー：

リサイクルファイバーのエントリーポイントに、パルプの品質基準を設けることは重要です。上流工程からデータを取ること、後に続く工程の最適操業を行う基礎データを得ることができます。

フローテーター：

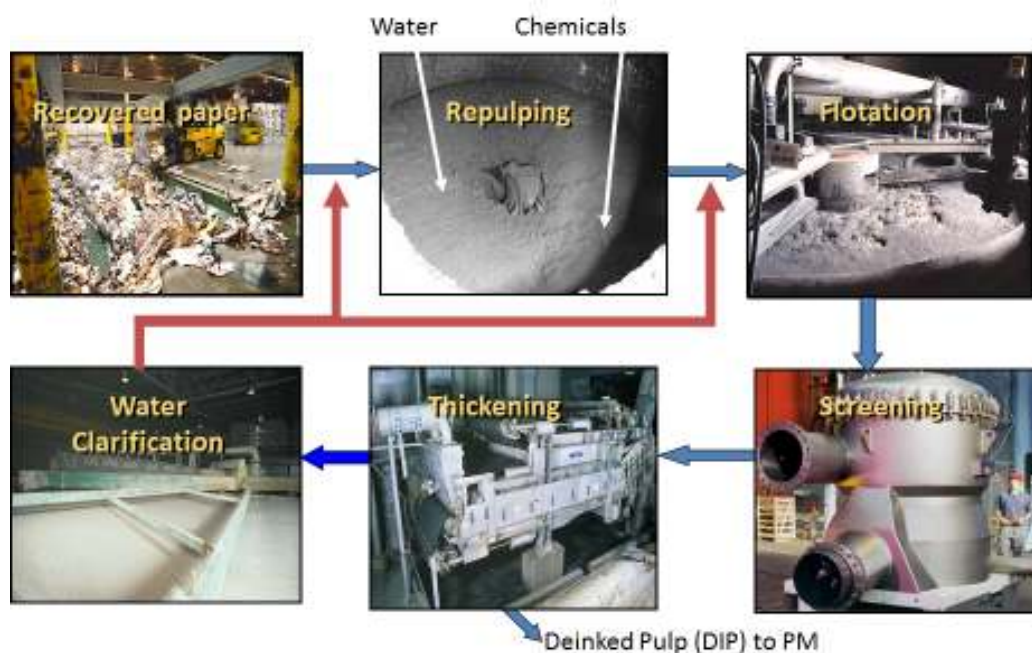
フローテーターは脱墨インク処理の為だけに使用されるだけでなく、コンタミを除去する機器としても機能します。比重の低いコンタミはインクと共にバブルに付着し浮かび上がります。これらコンタミを検知/分析することにより、機器の運転効率をモニタリング、最適運転条件での操業を可能にします。

スクリーン：

多くの機器は90%以上の効率で稼働しています。非効率の運転はファイバーの歩留まりの低下、エネルギーコストアップ、ストリームに異物混入等の問題を起こします。ここでは高い比重のコンタミを検知し、工程の状態、処理効率を評価し、機器の最適化を行います。

ヘッドボックス：

ここでの測定は、システム全体のコンタミ除去状態を検査します。パルプが抄紙機に投入される直前で、最終的に問題を引き起こすコンタミが無いことを確認します。



エネルギーコスト削減

FPAutoSpeck™ は抄紙機の操業エネルギー削減のために開発されました。エネルギー削減を実現するには、機器の状態（運転効率）を把握することです。本機でスクリーン、パルパー、フローテーターの状態を管理し、効率化、薬品投入量削減を可能にします。稼働時間も管理し、削減効果も確認できます。古紙パルプから高品質の製品を生産するには、受け入れ古紙の品質低下により、抄紙機の高出力稼働、大量の薬品を消費することを必要としますが、FPAutoSpeck™ は、エネルギーコスト削減を実現させます。

株式会社 **マツボー**
製紙機械課

Tel/Fax:03-5472-1747/03-5472-1740

URL:<http://www.matsubo.co.jp/sanki/seishi/index.html>